

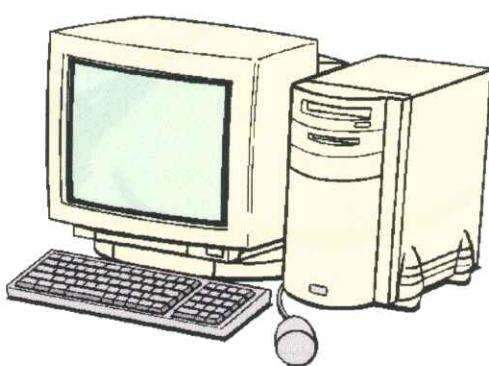
けんこうニュース

発行所

奥津医院
南足柄市生駒381
電話 0465-74-0024
発行人 奥津紀一



これまでNECの9821を使つていましたが、ウインドウズ95の上で動く、編集用のアプリケーションソフトが出てくるのが遅れているため、時流に逆行する感じですが、あえてマックintoshになりました。



のできばえはいかがでしようか?

これから日本は、高齢化社会に入ることもあり、いろいろな力を持つたすべての人達が、自分の持てる力を發揮して、その総合力で、社会を支えて行かなければならぬ。これが分かれば、おのずから「いじめ」「差別」など無くなつて行くだろう。

明治以後はこれがそつくり産業界にも持ち込まれ、日本の高度成長を達成しました。戦争の方法が一般社会に持込まれることによつて、病人や、ハンデを持つ人々は「足手まとい」として、差別されてきました。

二月二十四日(土)、二十五日(日)足柄上休日診療所の研修旅行で、ストックやキンセンカなど色とりどりの花が咲く、南房総を訪れた。

現在の理想的医療施設を目指したといわれる亀田総合病院、診療所を視察した。この施設は、来院者の居心地を徹底的に追求し、診療面では、コンピューター技術を駆使した高度のものを目指したものだつた。規模こそ違うが、当院(奥津医院)の目指すものと同じで、今後の方向を確認

でき、心強いものを感じた。しかし、保険診療というなかで、採算ベースに乗つてゐるのかとの疑問が残つた。



昨年の足柄台中学校に続いて、本年は、松田中学、岡本中学で三年生を対象に講演会を行つた。

エイズにならないための注意と、エイズを含め、ハンデを負つた人達と、どのように接していくたら良いのかについて話した。特に人は皆、何ら

かのハンデは持つてゐるので、傷害者とか、健常者とか区別することなく、共に生きてゆきたいということを強調した。学校のスケジュールをほとんど終了した三年生だが、皆興味深く聞いてくれた。

湧言飛語



足柄上医師会研修旅行
すばらしい未来型病院
亀田総合病院視察

院長、中学校でエイズ講演
松田中学・岡本中学校

これまで、日本では社会も産業も、規格化された、力の強い人達が、集団として活動することによって力を發揮し、繁栄してきました。

院長

パワーマック
8500導入